子育てサロン特別プログラム「せんせいとあそぼう」

2024年12月11日　実施報告

参加者：親子8組（子ども9名）
担　当：道城先生 / 心理学部学生15名（C1・C2班）
　　指導教員 道城・村井 / 保育スタッフ 福本・高木
内　容：保護者の居場所づくり
　　お子さんたちだけでなく保護者のみなさまにも参加いただき、一緒に楽しんでもらう

タイムテーブル
14:15～　はじまりのあいさつ、お名前呼び
14:20～　プログラム
14:40～　おわりのあいさつ

今日は今年度最後の「せんせいとあそぼう」でした。絵本「ペンギンたいそう」を読みながら、一緒に体操した後、ペンギンに変身したどーじょーせんせいと一緒にペンギンのダンスを踊りました。
ダンスの後、どーじょーせんせいが「ペンギンさんには大好きなものがあるの、なんだと思う？」と問いかけると、学生が一斉に段ボール箱でできた氷の山を運んできました。大きなお子さんは氷をみつけると、一目散で氷を両手で抱えて持ち上げたり、押して滑らせたりして、次々に部屋の反対側に運んでいきました。小さなお子さんには氷の中に入ってもらい、滑らせて遊んでもらいました。両側に穴が開いた氷では、お腹の周りにまきつけるようにして遊んだり、反対側をのぞき込んだりして、思い思いに遊び方を考えてくれていました。
今日の質問コーナーでは、「過去の子育てしている自分に、今、どんな声がけをしたいか」を1人1人の保護者のみなさまにお話しいただきました。「もっと手を抜いても大丈夫だよ」「短くてもいいから自分の時間を持って」「明けない夜はない！」等、胸に熱いものがこみあげてくるようなメッセージや、「子どもの服は大きいサイズを買っても、次の年は別のデザインが欲しくなるから、その時のサイズで買った方がいいよ」等、納得感が半端ないメッセージまで、色々なコメントが寄せられました。子育てを頑張ってくださっている保護者のみなさんに、「まなびー」が少しでもお役に立てたらと願っています。

文責：村井

子育てサロン特別プログラム「せんせいとあそぼう」

2024年11月13日　実施報告

参加者：親子14組（子ども15名）
担　当：道城先生 / 心理学部学生15名（B1・B2班）
　　指導教員 道城・村井 / 保育スタッフ 福本・高木
内　容：保護者の居場所づくり
　　お子さんたちだけでなく保護者のみなさまにも参加いただき、一緒に楽しんでもらう

タイムテーブル
14:15～　はじまりのあいさつ、お名前呼び
14:20～　プログラム
14:40～　おわりのあいさつ

今日の「せんせいとあそぼう」は、「どーじょーせんせいに質問！」コーナーから始まりました。「0歳のお出かけは毎日の方がいいですか？」「子ども連れにお勧めのスポットは？」などなど、さまざまな質問をいただきました。「なんでいつもそんなに元気なんですか？」という質問も飛び出し、大爆笑がおこりました。
次に、どーじょーせんせいが「落ち葉の季節になってきたから、今日は落ち葉の遊びをしようと思うんです」とお子さんたちを遊びに誘いました。「それ！」という掛け声とともに箱をひっくり返して、お子さんたちの前に画用紙で作られたたくさんの落ち葉を広げると、ワーッと歓声が上がりました。落ち葉は色々な形、色があり、お子さんたちは気に入った落ち葉をつまんで学生に見せたり、保護者の前でひらひらとあおぐように動かしたり、抱えてまき散らしたり、思い思いの遊びを展開していました。続けてどーじょーせんせいが「見て見て」と、本物のどんぐりの木や松ぼっくりを持ってくると、大きなお子さんたちは、どんぐりを上手につまんで紙皿に入れ、葉っぱを破いて“お料理ごっこ”を始めました。どーじょーせんせいからは、一人遊びの大切さについてお話がありました。
後半は、みのむし作りをする子、落ち葉で遊ぶ子、お料理ごっこをする子など、それぞれ気に入った遊びを続けている様子が見られ、お子さんたち一人ひとりが多彩な個性を持っていることを感じました。

文責：村井

子育てサロン特別プログラム「せんせいとあそぼう」

2024年10月16日　実施報告

参加者：親子9組（子ども10名）
担　当：道城先生 / 心理学部学生14名（A1・A2班）
　　指導教員 道城・村井 / 保育スタッフ 福本・高木
内　容：保護者の居場所づくり
　　お子さんたちだけでなく保護者のみなさまにも参加いただき、一緒に楽しんでもらう

タイムテーブル
14:15～　はじまりのあいさつ、お名前呼び
14:20～　プログラム
14:40～　おわりのあいさつ

今日は後期最初の「せんせいとあそぼう」でした。恒例の「質問しちゃおう！！」コーナーでは、いつもは学生がインタビュアーになりますが、今回は保護者のみなさまに学生に質問をしていただきました。おススメのデートスポットなどなど、教員も知らない情報を聞き出していただきました。
次に、絵本「スイミー」の読み聞かせです。お話の内容は少し難しかったと思いますが、お子さんたちは絵本を読むどーじょーせんせいの「声」の変化に耳を傾けていました。どーじょーせんせいからは、お子さんたちの優れた「聞く力」についての説明がありました。
さらに絵本「スイミー」の一場面を再現する遊びを行いました。お子さんたちに、小さな赤い魚を大きな画用紙にたくさん貼り付けてもらいました。小さな赤い魚はお子さんたちに人気で、よろこんで小さな指で赤い魚を上手につまみ、画用紙にペッタンと貼り付けてくれていました。赤い魚が集まると、大きな魚の形になりました。すると黒い大きな魚がやってきました！びっくり！お子さんたちも大騒ぎです。でも、大丈夫！小さな黒い「スイミー」が目になって、大きな黒い魚を撃退しました。
保護者のみなさまとお子さんたちの協力のおかげで、とても素敵な「スイミー」が出来上がりました。作っていただいた作品は、子育てサロン「まなびー」の前の廊下に貼っています。是非見に来てください。

文責：村井

子育てサロン特別プログラム「せんせいとあそぼう」

2024年7月3日　実施報告

参加者：親子8組（子ども9名）
担　当：道城先生 / 心理学部学生14名（C1・C2班）
　　指導教員 道城・村井 / 実習助手 谷山・藤井 / 保育スタッフ 下村・福本
内　容：保護者の居場所づくり
　　お子さんたちだけでなく保護者のみなさまにも参加いただき、一緒に楽しんでもらう

タイムテーブル
14:15～　はじまりのあいさつ、お名前呼び
14:20～　プログラム
14:40～　おわりのあいさつ

今日の「せんせいとあそぼう」は梅雨にちなんで、アジサイのお花作りを行いました。最初の「質問しちゃおう！！」コーナーで「学生時代にしておけばよかったこと」などなど、保護者のみなさまに質問にお答えいただいた後、お子さんたちを前に集めて、どーじょーせんせいが絵本「ぞうくんのさんぽ」「ぞうくんのあめふりさんぽ」を読みました。どーじょーせんせいからは、お子さんが絵本の内容に興味を持たなくても全然大丈夫、絵本を開いたり、手に取ったりすることで、興味が広がっていくので、遊び道具の一つとしてお子さんに渡してあげてくださいとの説明がありました。絵本の後はいよいよアジサイのお花作りです。アジサイの葉が2枚貼ってある画用紙に、絵の具とスポンジでぺたぺた、アジサイの花を捺していきます。手のひらに絵の具をつけておおきなアジサイを作ってくれるお子さんもいました。小さなお子さんたちにも楽しくすごしてもらえるように、学生たちも張り切ってお子さんに話しかけたり、保護者のお手伝いをしようとしたりしていました。できあがったアジサイを壁に貼り、一緒に鑑賞していると、どーじょーせんせい手作りのイケメンかたつむりが登場しました。お子さんたちにはかたつむりが大人気で、お土産にお持ち帰りいただくことになりました。持って帰ったかたつむりは、今頃どうしているでしょう？また教えていただければと思います。

文責：村井

子育てサロン特別プログラム「せんせいとあそぼう」

2024年6月5日　実施報告

参加者：親子15組（子ども16名）
担　当：道城先生 / 心理学部学生17名（B1・B2班）
　　指導教員 道城・村井 / 実習助手 谷山 / 保育スタッフ 下村・矢崎
内　容：保護者の居場所づくり
　　お子さんたちだけでなく保護者のみなさまにも参加いただき、一緒に楽しんでもらう

タイムテーブル
14:15～　はじまりのあいさつ、お名前呼び
14:20～　プログラム
14:40～　おわりのあいさつ

今日の「せんせいとあそぼう」はエプロンシアターでした。最初に恒例の「質問しちゃおう！！」コーナーで、「最近食べた美味しかったものは？」「子育てをしてよかったことは何ですか？」といった質問に回答してもらったあと、「おやつたーべよ」の音楽に合わせて手遊びを楽しみました。
手遊びが終わって、どーじょーせんせいがかいじゅうのアップリケのついたエプロンを身に着けて登場すると、お子さんたちが「おや？」という表情でどーじょーせんせいの前に集まってきました。どーじょー先生が「みんなが“おやつたーべよ”の歌うたってたから、おなかがすいてきたんだって、どうする？」「何食べようかなぁ？」「これな～んだ？」「みんな好き？」と声をかけると、お子さんたちから「りんご！」「アイス！」「そんなん食べられへん！」といった声が上がりました。
プログラムの最後にはどーじょー先生から、言葉が出やすいタイミングはお子さんが要求するときであり、お子さんが何かを取ろうとしたときに、「これは●●だよ」と声をかけると楽しく言葉を広げることができるとの説明がありました。
「まなびー」の特別プログラムでは、お子さんの年齢ごとに色の違う名札をつけていただいています。色を手掛かりに、保護者のみなさま同士の交流のお手伝いができればと願っております。

文責：村井

子育てサロン特別プログラム「せんせいとあそぼう」

2024年5月8日　実施報告

参加者：親子10組（子ども11名）
担　当：道城先生 / 心理学部学生17名（A1・A2班）
　　指導教員 道城・村井 / 実習助手 谷山 / 保育スタッフ 福本・高木
内　容：保護者の居場所づくり
　　お子さんたちだけでなく保護者のみなさまにも参加いただき、一緒に楽しんでもらう

タイムテーブル
14:15～　はじまりのあいさつ、お名前呼び
14:20～　プログラム
14:40～　おわりのあいさつ

今日は今年度最初の「せんせいとあそぼう」でした。このプログラムは、「まなびー」がお子さんたちだけではなく、保護者のみなさまにとっても居心地の良い場所になることを願って、保護者のみなさまにもご参加いただく内容になっています。
最初に恒例の「質問しちゃおう！！」コーナーです。これは、学生がインタビュアーになり、いろいろな質問が書かれたフリップの中からお子さんに1つ選んでもらって、保護者のみなさまに回答していただくプログラムです。「お子さんの推しポイントは？」「お子さんのよく見るテレビ番組は？」「ダンナ様との出会いは？」「将来お子さんと一緒に行きたい場所は？」などなど、ドキドキの質問にワクワクの回答が次々に寄せられて、学生たちも大興奮でした。
次に、お子さんに人気の絵本「ピヨーン」の読み聞かせです。どーじょーせんせいがお子さんたちの顔を見まわしながら、「うさぎが～？？？」と語りかけると、お子さんたちから歓声が上がり、飛び上がりたくて仕方がない様子がうかがえました。
絵本の次は親子の触れ合い遊びです。「きゅうりができた」「バスに乗って」を学生たちも人形をヒザに抱いて一緒に楽しんでいると、お子さんたちが面白そうに学生の方を眺めたり、保護者と目を合わせて笑ったりしてくれていました。学生たちは最初おっかなびっくりでしたが、お子さんたちの笑顔に緊張が和らいだようでした。

文責：村井